

昭和六十一年四月十一日、元お茶の水女子大学教授倉田淳之助先生が永眠された。享年八十四歳。

先生は、昭和四十年四月一日、京都大学からお茶の水女子大学文教育学部中国文学科教授に就任され、昭和四十二年三月までの満二年間、本学で教鞭をとられた。先生の本学への御着任は、本学人文科学研究科中国文学専攻（修士課程）の発足と同時にあり、同専攻の成立は先生の御着任を俟って始めて実現したものである。

先生の本学教官としての在任期間は決して長いとはいえないが、それとは全く関りなく、つとに中国書誌学並びに古典文学、主として宋代文学の研究に優れた業績をあげられた先生の学恩は、中国文学を学ぶわれわれすべてが深く蒙っているものである。

先生は、本学会発足の翌年、昭和五十七年に入会されると、積極的に本会の学会活動のために尽力された。遠く京都からわざわざ上京されて研究発表をされたほか、学会誌には二度にわたって寄稿いただいた。ここにつつしんで哀悼の意を表し、先生の御冥福を心からお祈りする。

昭和六十一年四月十三日

お茶の水女子大学中国文学会